

付属 DVD-ROM コンテンツ解説

田村紀雄 木村正人 松本光太郎

1. 概要と免責事項

この DVD-ROM には、パソコン及び家庭用の DVD プレーヤーで再生可能なビデオと、パソコンで閲覧可能な PDF ファイルが掲載されています。ビデオの内容は、タイトル名が「フィールドワークの記録から」、その下が「イスラーム地域としての雲南とタイ」（木村正人作成）及び「三つのテモクー—雲南のチーヌオ族の新年—」（松本光太郎作成）の二つのメニューに分かれています。「イスラーム地域としての雲南とタイ」の下はさらに「タイ国マウリド 2004」「トンソン・モスク」「葬儀と祖先祭祀」の三つのコンテンツに、「三つのテモクー—雲南のチーヌオ族の新年—」の下はさらに「観光用のテモクー」「郷政府のテモクー」「村落のテモクー」の三つのコンテンツに分かれています。PDF ファイルの内容は、『コミュニケーション科学』本体に掲載されている「フリーペーパーの広告主」（田村紀雄他著）です。PDF ファイルは、パソコン上でのみ、閲覧が可能です。

この DVD-ROM については、MacOSX (10.3.7) 環境及び WindowsXP 環境、家庭用の DVD プレーヤー（シャープ社製及びソニー社製）で、基本的な動作確認を行っております。また、NortonAntivirus により、ウイルス検査も完了しております。しかしながら、この DVD-ROM の使用により生ずる一切の問題について、いかなる責任も負いかねますので、同意の上、閲覧下さるよう、お願いいたします。御自分のパソコンが DVD-ROM 再生に対応しているかどうか、御確認の上、御使用下さい。また、音楽用 CD プレーヤーでは、絶対に使用しないで下さい。

リージョンコードの設定は、すべて再生可能となっています。ビデオ規格は NTSC となっていますが、PAL 規格の家庭用 DVD プレーヤーでも NTSC に対応している機種が発売されています。

2. 視聴方法

(1) パソコンでビデオを視聴される場合

MacOSX, WindowsXP のいずれの場合も、DVD 再生用のソフトウェアを使用して視聴します。

付属 DVD-ROM コンテンツ解説

MacOSX の場合、DVD-ROM を DVD-ROM 使用可能なドライブに挿入すると、OS に付属している「DVD プレーヤ」が自動的に起動します。後は、画面上のリモコンで操作して下さい。「DVD プレーヤ」が自動的に起動しない場合には、「アプリケーション」から選択し、起動して下さい。「DVD プレーヤ」が起動しても、DVD-ROM コンテンツのビデオが再生されない場合には、メニューから「VIDEO_TS フォルダを開く」を選択することで再生可能ですが、動作が不安定になる可能性があります。この問題は、試作品の作成過程で生じたもので、完成版ではこの問題は生じていません。

WindowsXP 環境では、やはりパソコンに付属している DVD 再生用ソフト等を使用して視聴します。RealOnePlayer を使用した場合に、メニュー画面のボタンのハイライトのグラデーションが滑らかに表示されないという問題がありますが、動作には影響がありません。WindowsMediaPlayer 及び PowerDVD では、こうした問題は発生しませんので、これらの再生ソフトでの視聴をおすすめいたします。DVD-ROM を DVD-ROM 再生可能なドライブに挿入すると、再生ソフトの選択を求めるウィンドウが自動的に表示されますので、使用するソフトを選択して下さい。再生ソフトが自動的に起動する場合があります。あとは、表示されたりリモコンで操作して下さい。なお、DVD-ROM を何回か出し入れしていると、再生ソフトの選択メニューが自動的に表示されなくなる場合がありますが、この場合には「マイコンピュータ」から DVD-ROM を選択し、ダブルクリックすれば、再生ソフトが起動します。

(2) PDF の閲覧

すでに述べたように、PDF の閲覧はパソコン上でのみ、閲覧が可能です。パソコンに付属の、PDF 閲覧用のソフト (MacOSX では「プレビュー」、Windows では「Acrobat」など) を使用して閲覧して下さい。MacOSX と WindowsXP のいずれにも共通していますが、通常は DVD-ROM を挿入すると、自動的に DVD 再生用ソフトが起動してしまいますので、いったん DVD 再生ソフトを終了してから、PDF ファイルを開けるようにして下さい。なお、WindowsXP 環境では、「マイコンピュータ」から DVD-ROM を開くこととなりますが、通常のダブルクリックでは、自動的に DVD 再生ソフトが起動してしまいますので、ディスクを右クリックして「開く」を選択すると、DVD-ROM 内のフォルダやファイルが表示されますので、PDF ファイルを選択して、開けて下さい。

(3) リモコンの操作

ビデオを視聴する場合のリモコン操作に関して、パソコンを使用する場合も家庭用の DVD プレーヤを使用する場合でも、「タイトル (トップメニュー、メインメニュー)」「メニュー (サブメニュー)」の階層を選択することが可能です。コンテンツを選択する場合には、

家庭用 DVD プレーヤの場合、リモコンの選択機能を利用して、「選択」状態、つまり選択したいコンテンツをハイライトにしてから、「決定」を押して下さい。パソコン上では、リモコンの選択機能を使用することもできますが、通常のマウスの操作で、コンテンツの名称の上にマウスを乗せるだけで選択状態になり、クリックすればサブメニューに行くか、またはコンテンツを再生することができます。

各コンテンツには、適宜チャプターが設定されていますので、リモコンのスキップ機能を利用して、先のチャプターに移ったり、前のチャプターに戻ったりすることができます。ただし、チャプター用のメニュー画面は設定されていません。また、「戻る」(リターン) 機能が設定されていませんので、サブメニューに戻る際には「メニュー」、メインメニューに戻る際には「タイトル」のボタンを押して下さい。家庭用 DVD プレーヤの場合、「メニュー」ボタンを押し続けると、もとのコンテンツに戻ったりする場合がありますので、リモコンを正しく操作して下さい。また、家庭用 DVD プレーヤやパソコンの機種や性能により、リモコンの反応速度に若干のタイミングのずれが生じる場合がありますが、反応するまでお待ち下さい。

3. ビデオの内容について

(1) 「イスラーム地域としての雲南とタイ」

内容は以下の三つの部分から構成されています。

「タイ国マウリド 2004」

「トンソン・モスク」

「葬儀と祖先祭祀」

「マウリド」とは預言者などの生誕祭のことで、ムハンマドの聖誕祭のことを意味する場合が多い。「トンソン・モスク」では、タイ王朝とムスリムの歴史的な深い結びつきとスンナ派とシーア派の友好関係などが紹介されます。「葬儀と祖先祭祀」では、アユタヤにおけるイスラーム式の埋葬の場面などが紹介されます。これらの内容については、本体の『コミュニケーション科学』第 22 号所収の「イスラーム地域としての中国とタイ (2)」及び、同 14 号所収の「イスラーム地域としての中国とタイ (1)」、同 20 号所収の「中国と東南アジア大陸部のイスラームに関する画像資料のデジタル化」を御覧下さい。DVD-ROM の表題は、「イスラーム地域としての雲南とタイ」となっておりますが、雲南系ムスリムに関するビデオは、2005 年度の『コミュニケーション科学』付属 DVD-ROM に掲載する予定です。

(2) 「三つのテモク——雲南のチーヌオ族の新年——」

内容は以下の三つの部分から構成されています。

「観光用のテモクー」

「郷政府のテモクー」

「村落のテモクー」

チーヌオ族は、中国雲南省シーサンパンナ・タイ族自治州景洪市の山中にある、チーヌオ民族郷に分布する少数民族で、中国の 56 の民族のうち、1979 年に最後に公認された民族です。シーサンパンナの旧都である景洪（チンホン）から比較的近い位置に分布していたなどの理由で、中央政府は特別にチーヌオ族の経済発展（主に砂仁という、漢方薬の材料となる薬草栽培で知られる）や教育を重視して来ました。テモクーとは、チーヌオ語でお正月のことであり、元来は独自の暦にもとづいていましたが、現在では西暦にもとづいて、毎年 2 月 6 日～8 日（実際には 2 月 5 日に開始される）に行われています。ここでは、観光用と郷政府主催の式典、村落レベルで復活された三つのテモクーを比較することを通じて、テモクー復活の意味を考えます。チーヌオ族に関しては、本学の『東京経大会誌』（第 199 号、第 205 号、第 213 号、第 231 号、第 241 号）及び『人文自然科学論集』（第 108 号）に掲載されて来た、東京経済大学雲南研究会（現在は東京経済大学雲南研究所）による調査報告を御覧下さい。テモクーに関しては、2004 年度及び 2005 年度に掲載予定の調査報告のなかで、順次取り上げて行く予定です。

4. 作成環境

主にアップル社の PowerMacG5, PowerMacG4, iBookG4（いずれも MacOSX10.3）、ソニー社のデスクトップ型 VAIO（WindowsXP）などを使用しました。使用したソフトウェアは、ビデオ編集にはアップル社の iMovie4, FinalCutExpress, オーサリングとエンコードには主に同社の DVDStudioPro3, iDVD4 などを使用しました。画像処理には、Adobe 社の Photoshop7.0 等を使用しました。

当初の予定では、「イスラーム地域としての雲南とタイ」をテーマとして、DVD の機能をフルに生かして、複数の言語の字幕や音声を選択できる多言語対応のコンテンツで、内容も中国雲南省のイスラームを含めたものを予定していました。しかしながら、素材が MiniDV テープで数十本と非常に多く、特に字幕やナレーションの翻訳が間に合わないことが判明し、今回はタイ語や中国語で撮影したビデオに日本語の字幕やナレーションをつけるにとどめました。来年度には、中国雲南省とタイのチェンマイのムスリムをテーマとして、多言語対応のコンテンツを作成する予定です。